

9月9日から2日間、北海道大学で開催された機械学会に参加しました。

まず9月8日に札幌に前入りしました。お昼前に到着したため、午後は小樽まで足を伸ばしました。高校の修学旅行で訪れたことがあったので、その記憶を基にスマートに観光できました。高校時代、家族へのお土産に購入したチョコブロックのアソートがあまりにも美味しく、印象に残っていました。そこで今回も同じお菓子屋さんを訪れ、チョコレートを購入しました。期待を膨らませながら食べたところ、記憶通りの上品な甘さと口どけに、やはり感動しました。北海道の食のレベルの高さを改めて実感しました。また、夜には阪大の2研究室合同で懇親会がありました。研究室間の交流を深められただけでなく、林研のメンバーとも改めて親交を深めることができました。今後も同じ大学の研究室として、交流を続けていきたいと思います。

9月9日はポスター会場の下見と口頭発表の聴講を行いました。ポスター会場は想像以上に多くの人で賑わっており、歩くのも困難なほどでした。活発な議論が交わされており、アカデミアの現場を実感することができました。口頭発表では大学だけでなく企業からの発表も多く、基礎研究から製品への応用まで幅広い内容に触れることで、超音波分野の知識を深めることができました。

9月10日は自身のポスター発表を行いました。ポスター位置が会場の最奥で、人の流れが少ない場所だったため、自ら積極的に声をかけて議論を行いました。その結果、多くの方と意見交換ができ、特に企業の方とは研究の応用面について有意義な議論を行うことができました。一方で、超音波検査の基礎的な質問に十分答えられない場面もあり、基礎知識の重要性を痛感しました。

今回の学会参加を通じて、北海道を満喫するとともに、研究分野への理解を一層深めることができました。得られた学びを今後の研究に活かしていきたいです。



